

# 白石町行財政改革プラン



(目標年次:平成23年度～平成27年度)

白 石 町

## 目次

■はじめに	2
■行財政改革プラン項目一覧表	3
■重点推進事項	4
1. 事務・事業の再編整理	
(1) 事業の廃止・縮小及び類似事業の統合	4
(2) 事務の効率化・簡素化	4
(3) 組織・機構等の見直し	4
2. 民間委託等の推進	
(1) 民間委託等の推進	4
3. 定員管理の適正化	
(1) 定員管理の適正化	5
(2) 定員状況の公表	5
4. 給与の適正化	
(1) 給与制度・運用・水準の適正化	5
(2) 給与状況の公表	5
5. 機関・団体等の見直し	
(1) 機関・団体等の見直し	5
6. 経費削減等の財政効果	
(1) 経費の削減合理化等財政の健全化	6
(2) 補助金等の整理合理化	7
(3) 公共工事のコスト削減	7
(4) 使用料・手数料の改定	8
(5) 町税等の収納対策と負担の適正化	8
7. 人材育成の推進	
(1) 人材育成の推進	8
8. 行政サービスの向上	
(1) 窓口における対応の改善と行政サービスの総合化	9
(2) 住民への情報提供等	9

## はじめに

この行財政改革プランは、白石町行財政改革大綱において示された基本方針及び重点推進事項に基づき、計画的に行財政改革を推進していくため、具体的な実施項目・内容・計画年度・数値目標等を定め、より実効性を高めるために策定したものであります。

また、国の状況や社会経済情勢の変化等によって、新たな実施項目に対応する必要が生じたときは、具体的な改革内容等を調整したうえで、随時、この行財政改革プランに追加しながら行財政改革の推進を図るものであります。

### 1. 計画期間

この行財政改革プランの計画期間は、平成23年度から平成27年度までの5年間とする。

### 2. 数値目標

目標等を数値化するとともに、その実績効果額、改革内容等を可能な限り明確にし、公表することによって、町民にわかりやすくするとともに、実効性を高めます。

なお、実施項目の中には、業務等の見直しによる簡素化や町民サービスの向上を目標に掲げている内容等で、数値の算出が難しい内容の実施項目については、記入していません。

### 3. 推進姿勢

行財政改革の推進にあたっては、町長を本部長とする行政改革推進本部を中心として全庁一丸となって取り組むとともに、積極的に進捗状況を町民に公表し、常に行財政改革プランの弾力的な見直しを行いながら効果的な推進を図るものとする。

注) この行財政改革プランは、地方公営企業関係を含む内容で構成しています。

## 行財政改革プラン項目一覧表

大項目	中項目	項 目	項目数
1		事務・事業の再編整理	
	(1)	事業の廃止・縮小及び類似事業の統合	1
	(2)	事務の効率化・簡素化	2
	(3)	組織・機構等の見直し	1
2		民間委託等の推進	
	(1)	民間委託等の推進	2
3		定員管理の適正化	
	(1)	定員管理の適正化	2
	(2)	定員状況の公表	1
4		給与の適正化	
	(1)	給与制度・運用・水準の適正化	3
	(2)	給与状況の公表	1
5		機関・団体等の見直し	
	(1)	機関・団体等の見直し	1
6		経費削減等の財政効果	
	(1)	経費の削減合理化等財政の健全化	6
	(2)	補助金等の整理合理化	5
	(3)	公共工事のコスト削減	1
	(4)	使用料・手数料の改定	1
	(5)	町税等の収納対策と負担の適正化	1
7		人材育成の推進	
	(1)	人材育成の推進	2
8		行政サービスの向上	
	(1)	窓口における対応の改善と行政サービスの総合化	3
	(2)	住民への情報提供等	3
			36項目

## 1. 事務・事業の再編整理

単位：千円

### (1) 事業の廃止・縮小及び類似事業の統合

実施項目	実施概要	効果額目標	計 画 年 度					課
			H23	H24	H25	H26	H27	
一時預かり事業 (一時保育)の統合	福田保育園での一時預かり事業を廃止し、交流館(ゆめてらす)に統合する。		○	○	○	○	○	保健福祉課

### (2) 事務の効率化・簡素化

実施項目	実施概要	効果額目標	計 画 年 度					課
			H23	H24	H25	H26	H27	
申請手続きの簡素化	申請、届出等に伴う行政上の手続を簡素化し、町民負担の軽減を図るため、各種申請書等への捺印の見直しを行う。 (署名に捺印を求めている場合において、捺印を求める必要性や実質的意義が乏しく、捺印を廃止しても支障のないものは廃止し、署名のみでよいこととする)		○	○	○	○	○	各課
電子決裁システムの改修と運用の積極化	現在使用している職員ポータルには電子決裁システムが搭載されているが、まだ活用に至っておらず検討が必要である。今後、活用方法を検討し運用する事によりペーパーレスに努める。		○	○	○	○	○	総務課

### (3) 組織・機構等の見直し

実施項目	実施概要	効果額目標	計 画 年 度					課
			H23	H24	H25	H26	H27	
組織・機構の見直し	職員総数については将来的に255人という目標で計画されている。これに伴い「職員数減による組織・機構の見直し」を行う必要があり、早い段階での機構改革、課の統廃合を検討していく。		○	○	○	○	○	総務課

## 2. 民間委託等の推進

### (1) 民間委託等の推進

実施項目	実施概要	効果額目標	計 画 年 度					課
			H23	H24	H25	H26	H27	
業務委託契約の複数 年契約について	現在、水道業務では配水場薬品注入設備保守点検、加圧ポンプ保守点検委託、減圧弁保守点検委託、漏水調査業務委託、検針委託、事務機器保守点検委託(企業会計システム)、GIS保守点検、を単年度契約をしている。 これらの契約を複数年契約で検討する。		○	○	○	○	○	水道課
保育園の公設民営化 推進	具体的な実施時期及び保育園の選定については専門部会等を設置し検討していく。		○	○	○	○	○	保健福祉課

### 3. 定員管理の適正化

#### (1) 定員管理の適正化

実施項目	実施概要	効果額目標	計 画 年 度					課
			H23	H24	H25	H26	H27	
勸奨退職の推進	適正な定員管理を実現するため、定年退職のみならず勸奨退職を推進し、新規採用者の抑制を行い定員管理の適正化を図る。		○	○	○	○	○	総務課
臨時職員の雇用削減	将来的には職員も255名程度まで削減される計画であり、1課につき2～3名減になるのは確実である。削減された職員分を臨時雇用で対応することは難しいため、職員の意識改革に取り組み最大限の努力をし、定員内の職員で努力していく。その中でどうしても対応できない部門についてはアウトソーシング等手法を検討する。緊急を要する短期的な雇用や保育園等、量をこなす部署を除き臨時雇用については基本的に廃止する。		○	○	○	○	○	総務課

#### (2) 定員状況の公表

実施項目	実施概要	効果額目標	計 画 年 度					課
			H23	H24	H25	H26	H27	
人事行政の運営等の状況の公表	人事、給与、厚生制度等を積極的に広く公表することで、住民の理解を得ながら、適正な人事行政を行う。		○	○	○	○	○	総務課

### 4. 給与の適正化

#### (1) 給与制度・運用・水準の適正化

実施項目	実施概要	効果額目標	計 画 年 度					課
			H23	H24	H25	H26	H27	
職員間のフォロー体制の確立	前担当者（前々担当者）は、いつの時期が非常に多忙かがわかる上に即戦力である。通常の業務に支障がでない範囲で他課のフォローができる体制を確立し時間外の抑制につなげる。		○	○	○	○	○	総務課 (各課)
時間差出勤の検討	夜間等の時間外における会議や説明会等の開催が予定されている日及び翌日にその開催時間分、出勤時間を遅らせることができる体制を確立し、時間外手当の削減を図る。		○	○	○	○	○	総務課 (各課)
投票時間の繰上げ	現在、選挙時に武雄市等が実施している投票時間の繰上げを行い経費の支出を抑える。	△850千円	○	○	○	○	○	選挙管理委員会

#### (2) 給与状況の公表

実施項目	実施概要	効果額目標	計 画 年 度					課
			H23	H24	H25	H26	H27	
人事行政の運営等の状況の公表（再掲）	人事、給与、厚生制度等を積極的に広く公表することで、住民の理解を得ながら、適正な人事行政を行う。		○	○	○	○	○	総務課

### 5. 機関・団体等の見直し

#### (1) 機関・団体等の見直し

実施項目	実施概要	効果額目標	計 画 年 度					課
			H23	H24	H25	H26	H27	
消防団組織機構の見直し	現在、活動してもらっている部について整理できる所については統合し合理化を図る。		○	○	○	○	○	総務課

6. 経費削減等の財政効果

(1) 経費の削減合理化等財政の健全化

実施項目	実施概要	効果額目標	計 画 年 度					課
			H23	H24	H25	H26	H27	
地方債残高の抑制	地方債現在高の目標を設定し、地方債の繰上償還や借入額の抑制により、各種財政指標の悪化を防ぐ取組みを行う。		○	○	○	○	○	財政課
郵便料金の削減	現在、郵送している町民個人あて文書（速達及び簡易書留を除く）を近隣の職員による配送とし、郵送料金の削減を図る。		○	○	○	○	○	総務課
町営住宅建替えに伴う借地料の削減	老朽化し耐用年数が経過している福富地域の栄町住宅と寿町住宅を対象に、旧福富支所跡地に建替える計画である。	△380千円	○	○	○	○	○	土木管理課
自治体におけるプライマリーフォン（ケーブルプラス電話）の活用検討	平成22年度中においてケーブル網の整備が完了する。ケーブル網を利用しプライマリーフォン（ケーブルプラス電話）の導入について、ケーブルワンエリア（武雄市、大町町、江北町、白石町）及びぶんぶんテレビエリア（佐賀市）において各自治体がケーブルプラス電話を県庁も含め協議していくことで、町と県との電話料の節約につながるものと思われる。IP電話については合併時に検討課題として計画にあげていたが、IP電話の導入のためには機器も必要であり、投資額に対し、メリットが少ないと思われた。しかしケーブルプラス電話はケーブル会社が運用するものであり、検討する余地がある。		○	○	○	○	○	財政課 (企画課)
財務会計サーバのクラウド化又は共同利用によるシステムの統合計画で経費削減を図る	現在、県情報課において電子自治体推進協議会の中でも財務会計のクラウド化又は共同利用のためのシステム統合による経費削減について提案しているが、財政課から県内10市10町への働きかけを行うことで、次期更新（平成27年度）までにシステムの統合等を図る。各自治体の財政担当の今まで使用しているシステムのBPR（事務の標準化）を協議するために3年間以内でシステムの基本概念を構築し、平成26年度からシステム開発業者の選定のための期間とし、平成27年度において平行稼働又は本格移行への実証期間とし、平成28年度から新システムの運用を目指す。		○	○	○	○	○	財政課 (企画課)
図書システムのクラウド化又は共同利用によるシステムの統合計画で経費削減を図る	6町合併構想時点で江北町と共同調達したシステムを、平成21年度に図書システムを再構築しなおしたが、蔵書数からみても、白石町及び江北町のみ共同利用ではなく、県内自治体へ働きかけ、更なる経費削減を目指す。		○	○	○	○	○	財政課 (企画課)

(2) 補助金等の整理合理化

実施項目	実施概要	効果額	計 画 年 度					課
			H23	H24	H25	H26	H27	
たばこ小売組合補助金の廃止	たばこ小売組合補助金は合併以前から交付されており、たばこ税収確保を目的に、町内でのたばこ購買促進活動補助金として交付されてきた。 補助金は、補助金要綱に基づき交付してきたが、町の財源難から毎年減額している。(H22年度は合併時から2割減) ここ数年は健康志向、分煙・禁煙化による喫煙規制の強化で購買推進が困難な状況でもあり補助金廃止をする。	△280千円	○	○	○	○	○	税務課
前納報奨金制度の廃止	現在、町県民税(給与や年金からの特別徴収を除く。)、固定資産税について、納期前にかかる納付に対し、前納報奨金を交付しているが、今後3年を経過したのち廃止する。	△13,000千円	○	○	○	○	○	税務課
納税組合運営交付金の廃止	納税組合報奨金制度を廃止し、平成21年度より納税組合運営交付金として各納税組合に交付しているが、平成23年度より納付書を郵送すること、また口座振替による納税を推進することにより納税組合の活動が薄らぐため廃止する。	△7,000千円	○	○	○	○	○	税務課
敬老祝い金の見直し	現在、5歳刻みに支給している祝い金を廃止し、節目(77歳、88歳、99歳等)の年齢に対し支給する。	△10,000千円	○	○	○	○	○	長寿社会課
各事業の実施期間の設定	事業の実施にあたっては、すべての事業を3年限度とし、事業完了後には評価を行い、継続が必要なものについては改善し新規事業として取り組む。事業の新設、廃止を繰り返すことでその時期、時期に的確な事業が創設できる。		○	○	○	○	○	各課

(3) 公共工事のコスト削減

実施項目	実施概要	効果額目標	計 画 年 度					課
			H23	H24	H25	H26	H27	
公共工事のコスト削減	工事の計画・設計等の見直し、工事発注の効率化、工事構成要素のコスト低減等施策を講じることにより、工事コストの着実な低減を図る。 工事については「より良いものをより安く」という観点から整備していく必要があるが、それだけではなく、より耐用年数の長い施設、省資源・省エネルギー化に資する施設、環境と調和する施設等の整備を推進し、施設の品質の向上を図ることにより、ライフサイクルを通じてのコストの低減や環境に対する負荷の低減を図る。		○	○	○	○	○	各課



(4) 使用料・手数料の改定

実施項目	実施概要	効果額目標	計 画 年 度					課
			H23	H24	H25	H26	H27	
国民健康保険税の見直し	国民健康保険の医療給費は、年々増加傾向にあって、すでに保険給付支払準備基金は枯渇し、運営は極めて困難な状態です。 国保の健全な運営を図るため保険税の見直しを実施する。		○	○	○	○	○	住民課

(5) 町税等の収納対策と負担の適正化

実施項目	実施概要	効果額目標	計 画 年 度					課
			H23	H24	H25	H26	H27	
町税の収納率向上	町税の滞納金徴収にあたっては、納税者の公平性を保つためにも根拠法令に基づき適正な処理を行い、収納率の向上を図り滞納額の減少に努める。		○	○	○	○	○	税務課

7. 人材育成の推進

(1) 人材育成の推進

実施項目	実施概要	効果額目標	計 画 年 度					課
			H23	H24	H25	H26	H27	
人事評価システムの導入	客観的で多面的な能力評価及び業績評価を行い、人事に反映させるとともに、個々の職員に不足するものを補う研修制度を導入する。		○	○	○	○	○	総務課
人材育成基本方針に沿った研修会等への参加	地域からの要望に対応するための職員の意識改革と自己研修及び市町村アカデミー研修への積極的参加を図る。		○	○	○	○	○	総務課

## 8. 行政サービスの向上

### (1) 窓口における対応の改善と行政サービスの総合化

実施項目	実施概要	効果額目標	計 画 年 度					課
			H23	H24	H25	H26	H27	
住民票等の時間外交付及び宅配サービス制度の拡充及び周知徹底	共働き世帯や核家族が増加する中、町民サービスの向上を図るため、住民票・各種証明書等の時間外交付及び宅配サービス制度の拡充と町民への周知徹底により、利用者の増加を図る。		○	○	○	○	○	住民課
住宅使用料のコンビニ収納	住宅使用料のコンビニ収納については、深夜や土曜日、日曜日の納付を可能し、納付手段と機会の拡充を図ることにより、町営住宅入居者に対するの利便性を向上させる。		○	○	○	○	○	土木管理課
福田保育園での12時間開所の実施	保護者の就労体系の変化に合わせ、町内保育園7園と同じく、午後7時までの開所時間とする。		○	○	○	○	○	保健福祉課

### (2) 住民への情報提供等

実施項目	実施概要	効果額目標	計 画 年 度					課
			H23	H24	H25	H26	H27	
町政懇談会の実施	◎必要に応じ随時開催する ◎参加促進のため開催通知の徹底 ◎広報紙やホームページに懇談会で出た意見・要望及び回答を掲載する。		○	○	○	○	○	企画課
まちづくり出前講座の実施	町民からの要請に応じ、町行政の仕組みや事業、施策について、町職員が講師として地元に出向いて話をを行い、町行政に理解を深めてもらう。		○	○	○	○	○	企画課
行政情報等の提供	従来から行ってきた広報紙、ホームページを活用した行政情報の提供に加え、ケーブルテレビによる行政情報の提供も行っていく。 また、ケーブルテレビを利用したデータ放送も実施し、行政情報の内容を充実させる。		○	○	○	○	○	企画課